

盛岡市学力向上推進事業(概要)

【方針】すべての子どもたちの可能性を引き出す授業の実現

「個別最適な学び」

- 指導の個別化
- 学習の個性化

子どもが自分の学習状況を把握し、学習の仕方や相談相手などを、自分で調整・決定することができるように、教師が促す

【重点取組】

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

「協働的な学び」

子どもが、探究的な学習や体験活動等の学習過程を通じ、他者と協働しながら異なる考え方を組み合わせ、よりよい学びを生み出せるように、教師が単元等のまとまりをデザインする

ICTの活用

- 教師も、児童生徒も「当たり前」のこととして端末等を活用する
- ICTを「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に生かす

学力向上推進事業

各校での授業改善や研究への支援

- 学校訪問指導（各校3回まで(公開校5回まで)）
- 出前講座（随時受付。各校のニーズに合った講座の実施）
- 教科部会支援訪問(小・中)(国語・算数・数学・理科・英語・保健体育)
随時受付。教科担当指導主事が教科部会に参加し、授業づくりや単元指導計画作成に関する相談・助言等を行う。
- 研究主任支援訪問(小・中)
随時受付。校内研究について、研究主任・研究部に助言等を行う。

教職員一人一人への支援

- 学級経営支援訪問(小・中)
指導主事が訪問し、帰りの会等の参観、参観後の相談を通じ、学級経営について助言する。
- 授業づくり支援訪問(小・中)
指導主事が訪問し、授業づくりの相談や授業参観後の助言をする。
- 公開講座（夏季休業中に開催）

各校での日常的な授業改善

- 盛岡市授業改善シート
別紙参照。各教職員が授業に携帯する、机の上に置くなどして日々の授業改善につなげるツール。各校での授業研究会時に、授業改善の視点として活用できる。各校・個人でカスタマイズしたり、小中一貫教育の視点で、中学校区で同じ内容にしたりすることも可能。
- 授業改善強化週間
各校で学期毎に1回程度、設定。「確かな学力育成プラン」に位置付ける(例:校内研前後の週を強化週間とし、互見授業を実施したり、校内研の授業者に関連する指導事項で他の教職員が授業したりする)。